

平成31年度実質当初予算 商工労働部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 企業の人手不足に対応するため、A I ・ I o Tの導入による生産性向上支援や人材確保対策を新たな視点も取り入れ充実・強化する。
- ・ 将来にわたり本県経済を支える強い産業づくりに向け、次世代産業の創造や意欲ある中小企業の前向きな取り組みへの支援のほか、海外販路開拓への支援を強化する。
- ・ 本県の立地環境の優位性をP Rし、本社機能も含めた戦略的な企業誘致に取り組む。
- ・ 金沢港の日本海側のクルーズ拠点港化に向け、多様なクルーズ船の誘致や発着クルーズの定着促進を図る。

◎重点主要施策の概要

○企業の人手不足対策の充実・強化

企業の生産性向上に向けたA I ・ I o Tの導入支援については、導入助成制度の採択枠を倍増するほか、岐阜県と連携した先進企業の相互視察、より実践的な人材育成コースの新設など、資金面、技術面、人材育成面からの総合支援策を質・量の両面から充実・強化する。

人材確保対策については、I L A C大阪の周知を強化するほか、学生に対して、電子マネー「ふるさと石川就職学生カード」を交付し、地元就職意識を醸成する。女性や高齢者の就業に向け、就職希望はあるものの、求職活動をしていない層に新たにアプローチし、掘り起こしを図る。

○将来にわたり本県経済を支える強い産業づくり

次世代産業の創造やものづくり中小企業による新技術・新製品開発を支援するほか、新たに、ネクストニッチトップ企業育成支援制度を設け、ニッチトップ企業を目指す企業の裾野を拡大する。

海外販路開拓支援については、ビジネス商談会などを通じて、海外バイヤーとのネットワークを強化するほか、現地の消費者に向け、本県産品の魅力を直接P Rする「B to C」の試みを拡充する。

このほか、伝統的工芸品産業の振興や本県の立地環境の優位性を活かした本社機能も含めた企業誘致に取り組む。

○金沢港の日本海側のクルーズ拠点港化

これまでの誘致活動に加え、横浜港との連携協定を拠り所として、海外ラグジュアリー船の誘致に向けたポートセールスや北陸新幹線を活用したレール&クルーズの商品開発などに両港共同で取り組む。

また、金沢港発着クルーズの定着に向け、首都圏などでP R活動を展開するなど利用促進を図るほか、クルーズ客の県内での前後泊を促進する。

平成31年度実質当初予算 商工労働部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 生産性向上と人材確保による人手不足対策		
(1) 企業の生産性向上に向けた総合支援の充実強化		
・ AI・IoT等の導入支援(資金面の支援)	210,000	④助成枠の倍増(30件→60件)
・ ④岐阜県との連携による企業のAI・IoT導入促進(技術面の支援)	1,000	企業向けセミナーの両県での相互開催、両県先進企業の相互視察など
・ AI・IoT実践道場の開講(人材育成面の支援)	30,000	④現場対応型AIコースの新設、④IoTコースの定員拡充(60名→70名)
・ ④非製造部門における事務作業効率化の促進	3,000	定型的な事務作業を自動化するRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の導入に向けたセミナーの開催、デモ機を用いた体験会の実施
・ 職場の業務改善による生産性向上モデルの確立	30,600	モデル企業における実践と県内企業への波及
・ 小規模企業等への生産性向上トレーナーの派遣	14,700	④企業ニーズに応じた専門家によるきめ細かなアドバイスの実施(570回→700回)
(2) Uターン・県内就職の促進と多様な人材の確保		
①学生の県内就職の促進		
・ ④県内就職に向けた早期の意識醸成	10,000	「ふるさと石川就職学生カード(ISica(イシカ))」の発行
・ 県内企業でのインターンシップの促進	30,100	県内および三大都市圏でのマッチング交流会(5月、12月)
・ 県内企業の情報発信の推進	34,900	参加者の関心に応じた若手社員との交流会、保護者向けセミナー、県内および三大都市圏での合同企業説明会等(11月、2月、3月、6月)
・ 県外学生のUターン就職に向けた就職支援協定大学との連携強化	2,500	学内での就職セミナー、大学の就職支援担当者と県内企業との懇談会
・ 就職する高校生に向けた県内企業の魅力発信	6,900	企業ガイダンスの開催(7月)
・ 県内企業の採用力の強化	4,000	人事担当者向けセミナーの開催
・ 進学する高校生のUターン就職に向けた取り組み	4,000	県内就職の魅力や石川の暮らしやすさを紹介するセミナーの開催

事業名	金額(千円)	説明
②UIターンの促進		
・ ILACにおけるマッチングの促進	74,680	人材紹介会社と連携したマッチングの促進、㊦三大都市圏での転職イベントの充実など
・ ㊦ILAC大阪を拠点とした関西圏からのUIターン促進(再掲)	16,140	ILAC大阪の関西圏での認知度向上に向けた地下鉄等でのPR、転職イベントの充実
・ ㊦石川版移住支援金及び移住・起業支援金制度の創設	46,000	東京23区からの県内中小企業へのUIターン就職者・起業者への支援金
・ ㊦県外からの高度専門人材のUIターン促進	21,000	県内中小企業の高度専門人材(工場長等の管理職)採用に対する支援
・ ものづくり中小企業の研究開発人材等の確保支援	1,000	㊦理系大学院修了者に対する奨学金返還助成の開始(採用から3年経過後に助成)
③女性や高齢者等の就業促進		
・ 女性の求職と求人のミスマッチの解消	17,900	女性が働きやすい職場づくりに向けた企業セミナーの開催、㊦マッチング交流会の開催(5回→10回)
・ 企業における高齢者の活用促進	—	高齢者に適した軽作業の提供促進に向けた企業セミナーの開催、㊦マッチング交流会の開催(5回→10回)(国プロジェクト 18,000千円)
・ ㊦求職活動前の女性や高齢者の掘り起こし	1,800	女性や高齢者向けイベント等での魅力ある仕事の紹介によるILACへの登録促進
・ 女性や高齢者等の新規採用者の職場定着に向けた支援	200,000	研修費への助成、モデル事例の普及など
・ 外国人留学生の県内就職の促進	2,700	企業・留学生向けセミナーの開催、企業と留学生の交流会の開催
2 将来にわたり本県経済を支える強い産業づくり		
(1) 意欲ある中小企業の前向きな取り組みの支援		
①次世代産業の創造		
・ いしかわ次世代産業創造ファンド(300億円)による産業成長力強化	200,000	次世代の産業を担う成長分野での新製品・新技術の研究開発への助成(炭素繊維、航空機、ライフサイエンス、エネルギー・低炭素化)
・ 炭素繊維複合材料の開発に取り組む東海・北陸地域の連携強化	1,500	技術シーズの全国への提案・発信、用途拡大に向けた川下企業招へいによる商談の実施など
・ 成長分野での研究成果の製品化・実用化促進	90,000	早期事業化に向けた製品の性能評価等に対する支援

商工労働部

事業名	金額(千円)	説明
②新規需要創出に向けた新分野展開への支援		
・ いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド(400億円)による支援	284,000	事前調査、新製品・新技術開発、販路開拓までの総合支援など
・ 本県産業の競争力強化に向けたニッチトップ企業の裾野拡大	21,200	国内外でニッチトップを目指す企業に対する支援、 ⑩ニッチトップの可能性を秘めたネクストニッチトップ企業に対する支援
・ 福井県繊維産業との産地間連携の推進	12,500	新素材の共同開発、開発した新素材の展示会への出展
③新たな顧客獲得に向けた販路・受注開拓への支援		
・ 技術提案型展示商談会の開催	12,000	大手メーカー等と機械金属、繊維、ITなどの県内企業との新技術・新工法の展示商談会の開催
・ 受注開拓懇談会の開催	21,014	県外発注企業と県内受注企業とのマッチングを図るための受注開拓懇談会の開催
・ 繊維企業と大手アパレル企業の連携強化	7,000	首都圏での商談会の開催、首都圏デザイナーとの商品開発など
・ 首都圏の食品商社との個別商談会の開催	2,000	多品種・小ロットの特色ある地域製品の提案など
・ 中小企業が開発する新製品のブランディングの促進	5,200	新製品の審査・求評会の開催、プレミアム石川ブランド等認定製品への支援
・ 宿泊施設と連携したオーダーメイド型の伝統的工芸品の活用推進	7,000	県内宿泊施設のニーズに合わせた商品開発支援など
④企業の生産性向上に向けた総合支援の充実強化(再掲)	289,300	AI・IoT等の導入支援(資金面の支援)、 ⑩岐阜県との連携による企業のAI・IoT導入促進(技術面の支援)、 AI・IoT実践道場の開講(人材育成面の支援)、 ⑩非製造部門における事務作業効率化の促進、 職場の業務改善による生産性向上モデルの確立、 小規模企業等への生産性向上トレーナーの派遣
(2) 新たな成長市場の獲得に向けた海外販路の構築と拡大		
・ いしかわサポーターズショップによる魅力発信のモデル実施	5,000	⑩県産品の展示や観光情報をPRする海外小売店の拡充(4店舗→8店舗)
・ ⑩期間限定での海外アンテナショップのモデル実施	25,000	海外大手百貨店での県産品販売と観光情報PR(シンガポール、香港)
・ ビジネス商談会の開催による販路開拓の強化	14,500	シンガポール、香港、⑩欧州

事業名	金額(千円)	説明
・ 東南アジア・中国での商談会及び見本市への出展支援	8,000	機械見本市への出展支援、マッチング機会の創出
(3) 地域の強みの活用		
・ 「いしかわ百万石物語・江戸本店」を活用した魅力発信	10,000	文化体験イベントの実施やSNSを活用した情報発信など
・ 世界農業遺産・能登を巡るスマート・ドライブ・プロジェクトの展開	2,000	電気自動車・プラグインハイブリッド車用充電スタンドの設置等
(4) 戦略的な企業誘致の推進		
・ 本社機能立地促進補助金による研究・開発部門や業務統括部門の誘致の推進	141,000	本社機能施設等の県外からの受け入れ及び拡充するための助成
・ 創造的産業等立地促進条例による企業誘致の推進	1,323,000	高度な技術を有する企業等の立地を促進するための助成
・ 雇用拡大関連企業立地促進補助金による企業誘致の推進	1,076,000	雇用機会の拡大を図る企業の立地を促進するための助成
(5) 地場産業の経営安定化・基盤強化の推進		
・ 資金需要に応える融資枠の確保	新規融資枠 956億円	構造改革支援融資 335億円 経営安定支援融資 621億円 うち緊急経営安定支援融資 15億円 うち経営安定支援融資(借換資金) 10億円
・ 企業ドックによる経営基盤の強化	24,300	外部専門家派遣
・ 事業承継支援の充実	3,000	④経営者の意識啓発を図る事業承継セミナーの開催(2回→4回)、 ⑤事業承継に係る融資制度の創設
(6) 「国際北陸工芸サミット(仮称)」(2020年秋頃)の開催準備と伝統工芸の魅力発信		
・ ⑥サミット実行委員会の設置	3,000	企画内容の検討
・ 首都圏における本県伝統工芸の魅力発信とサミットのPR	20,000	いしかわ伝統工芸フェアの開催支援、北陸三県連携での「テーブルウェアフェスティバル2020」への出展

商工労働部

事業名	金額(千円)	説明
3 港の立地の優位性や特性を活かした港湾の活性化		
(1) 金沢港の利用促進		
・ ⑩横浜港との連携による相互の優位性を活かしたクルーズ船の誘致	9,500	ラグジュアリー船誘致に向けた豪州等の海外見本市への共同出展、北陸新幹線を活用したレール&クルーズ商品の開発など
・ 多様なクルーズ船の誘致と発着クルーズの定着	125,880	集客促進に向けたクルーズセミナーの開催、県内での前後泊の促進支援、歓送迎行事などクルーズ船の受入体制など
・ コンテナ定期航路の利用促進	5,200	金沢港の利用促進に向けた荷主への支援など
(2) 七尾港の利用促進		
・ 木材の総合物流拠点化の推進	12,000	木材加工品の取扱拡大に向けた輸入トライアル輸送の実施など
4 みんなで支える安らぎと絆の社会づくり		
・ 障害者雇用拡大に向けた取り組み	4,500	障害者向け業務の切り出しへの支援、経営者向けセミナーの開催など
・ 障害者を対象とした職場実習の実施	14,500	障害者の就職促進を図る職場実習(1か月)の実施(150人)
・ 発達障害者に対する就労支援	10,560	金沢産業技術専門学校における職業訓練(6か月間、計10人)